

日本で初めて鉄軌道事業を含む企業グループとして 「RE100」に加盟

省エネと再エネ(※1)の最適利用を通じた低炭素、脱炭素社会への貢献

当社は、2019年10月25日、再生可能エネルギーに関する国際イニシアティブ「RE100」に加盟しました。RE100加盟は、日本の鉄軌道事業を含む企業グループとしては初となります。

RE100は、国際的な NGO「クライメイト・グループ」(※2)が、「CDP」(※3)とのパートナーシップのもと運営する、再生可能エネルギー100%に取り組んでいるグローバルに影響のある企業を連合したイニシアティブです。

影響力の大きい企業群による、グローバルな協働イニシアティブを通じて、企業の再生可能エネルギー需要・供給の大幅拡大を目指し、すべての企業活動を100%再生可能エネルギー化することで、世界の炭素排出量の約15%削減を目標としています。

当社では、東急グループのスローガンである「美しい時代へ」を普遍的な価値基準と認識し、事業を通じた社会課題解決と事業成長の両立を目指しています。2018年度からは、中期3か年経営計画において、6つの「サステナブル重要テーマ」を特定して取り組んでおり、その一つである「低炭素・循環型社会」の実現に向けて、目指す姿として、「省エネと再エネの最適利用を通じた低炭素、脱炭素社会への貢献」を掲げています。また、より長期的な目標を明確化するものとして、本年9月2日に発表した長期経営構想の中で、「長期環境目標」を設定しました。

「長期環境目標(CO2 排出量)」

2050年までに事業で使用する電力を再生可能エネルギー100%で調達する

[電力使用による CO2] 2030年: 排出総量30%削減

2050年: 排出総量ゼロ

*対象は Scope 1、2 基準年は、鉄道事業(東急線); 2010年 不動産事業その他; 2015年

当社はこれまでも、再生可能エネルギー100%による世田谷線の運行開始、および南町田グランベリーパークの環境認証制度「LEED ND(まちづくり部門)」ゴールド予備認証取得など、環境への取り組みを行っています。

今後も、さまざまな取り組みにより環境経営を推進し、「低炭素・循環型社会」の実現に貢献していきます。



THE CLIMATE GROUP



【「RE100」統括責任者 サム・キンス氏のコメント】

「私たちは、東急株式会社が長期環境目標を設定し、鉄道会社として初めてRE100に加盟したことを歓迎します。東急が日本における低炭素社会の実現を推進し、特に運輸部門においてリーダーシップを発揮していることを大変嬉しく思います。」

【参考】

※1「再エネ」

再生可能エネルギー源の略: 太陽光、風力、水力、バイオマス(含むバイオガス)、地熱などの非化石エネルギーであり、永続的に利用可能なエネルギー源

※2「クライメイトグループ」(The Climate Group)

2004年に設立された英国に本部を構える NGO で、ニューヨークとニューデリーにも拠点を置き、独自の広報活動で気候変動対策を進めている

※3「CDP」

気候変動など環境分野に取り組む国際 NGO で、2000年に設立されたプロジェクト「カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト」がその前身となっている。機関投資家が関心のある気候変動関連情報を収集、開示する活動を行っており、2013年に組織名称を「CDP」に正式に変更

■中期3か年経営計画 基本方針

3つのサステナビリティ

<p>サステナブルな「街づくり」</p>  <p>■社会への視点： 新たな街づくりへの挑戦、街の発展・活性化への継続的取り組み</p> <p>■組織内の視点： 100年前から脈々と流れる、当社の街づくりDNAの継承</p>	<p>サステナブルな「企業づくり」</p>  <p>■社会への視点： ステークホルダー（顧客、株主、取引先等）への継続的な価値提供</p> <p>■組織内の視点： 環境変化や社会ニーズに適応した事業の開発と成長</p>	<p>サステナブルな「人づくり」</p>  <p>■社会への視点： 保育、教育、文化活動を通じた社会における人づくりの支援</p> <p>■組織内の視点： 経営人材の育成、イノベーション創出の風土醸成、技術の伝承、ダイバーシティと健康経営の深化</p>
--	--	--

■長期経営構想 サステナブル重要テーマごとの目指す姿

サステナブル重要テーマ	関連するSDGs	2030年に向けて目指す姿
安全・安心	8: 働きがい 経済成長 9: 産業と技術革新の基盤 11: 住み続けられるまちづくり	・日本で最も安全で利用しやすい公共交通サービスの実現 ・誰もが安心して暮らせる生活環境の提供
まちづくり	9: 産業と技術革新の基盤 11: 住み続けられるまちづくり 12: つくる責任 つかう責任 13: 気候変動対策 17: パートナースhip	・「住む」「遊ぶ」「働く」が前った個性的で魅力ある都市経営の実現 ・東急沿線まちづくりノウハウの国内拠点エリア、海外への拡大
生活環境品質	3: 健康と福祉 4: 質の高い教育 9: 産業と技術革新の基盤	・元気で自分らしく活き活きできる暮らしの実現
ひとづくり	3: 健康と福祉 4: 質の高い教育 5: ジェンダー平等 8: 働きがい 経済成長	・「誰もが働き続けたい会社」の実現 ・教育、文化、環境活動などを通じた社会におけるひとづくりの推進
低炭素・循環型社会	7: クリーンエネルギー 12: つくる責任 つかう責任 13: 気候変動対策 15: 陸の豊かさ	・省エネと再エネの最適利用を通じた低炭素、脱炭素社会への貢献 ・資源の有効利用と生態系配慮の推進による循環型社会への貢献
企業統治 コンプライアンス	9: 産業と技術革新の基盤 16: 平和と公正	・社会やグローバルな経営環境に直結した最良のコーポレートガバナンスの実現 ・「調和ある社会」の実現にむけたコンプライアンスの実践

■最近の環境に関する主な取り組み

○日本初*、再生可能エネルギー100%による世田谷線の運行開始

東北電力株式会社、株式会社東急パワーサプライの協力により、水力および地熱のみで発電した再生可能エネルギー100%による世田谷線の運行を2019年3月25日より開始しました。本取り組みは、日本初の再生可能エネルギー100%による通年・全列車の都市型鉄軌道線の運行であり、都市型通勤電車において“日本初の二酸化炭素排出量ゼロで走る電車”となります。

<https://www.tokyu.co.jp/image/news/pdf/20190325-1-1.pdf>

*当社、東北電力、東急パワーサプライの3社合同による取組事例調査の結果

○南町田グランベリーパークが国際的な環境認証制度「LEED ND(まちづくり部門)」にて、ゴールド予備認証取得

町田市および当社は、2019年11月にまちびらき予定の「南町田グランベリーパーク」において、歩行者ネットワークの整備や、グリーンインフラを生かしたランドスケープデザインが評価され、複合的なエリア開発を対象とした国際的な環境認証制度である「LEED ND(まちづくり部門)」の、ゴールド予備認証を取得しました。認証エリア内に駅を含むゴールド予備認証取得は、日本初となります。

<https://www.tokyu.co.jp/image/news/pdf/20190116-1.pdf>

当社のサステナビリティの取り組み : <https://www.tokyu.co.jp/company/csr/index.html>